

過去の災害を学ぶ「自然災害伝承碑」

～災害から身を守る、先人からの教え～

令和元年6月に掲載を開始し、令和8年9月24日時点で、2,481基を公開しています。

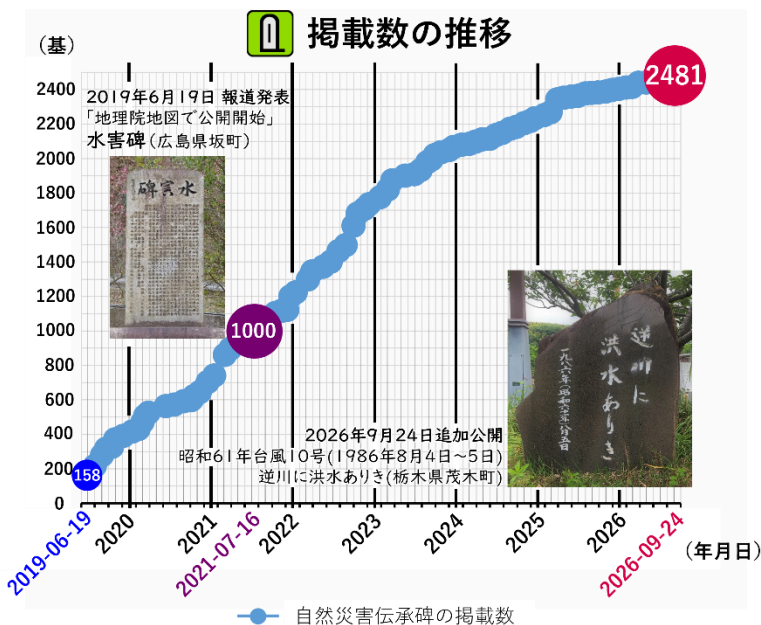
「自然災害伝承碑」とは？

- ◆ 過去に発生した地震、津波、洪水、土砂災害、高潮、火山災害等の**自然災害に関する事柄**（災害の様相や被害の状況など）が**記載**されている**石碑やモニュメント**です。
- ◆ 自然災害伝承碑の情報を**地理院地図**等に**掲載**することにより、過去の**自然災害の教訓**を**地域の方々**に適切にお伝えするとともに、教訓を踏まえた**的確な防災行動**による**被害の軽減**を目指します。



自然災害伝承碑
の取組はこちら

掲載分布図・掲載数の推移



自然災害伝承碑が過去の自然災害を学ぶきっかけづくりとなり、実際に過去の教訓が地域で活用されるよう、**ホームページへの利活用事例**の掲載を進めてまいります。

地図に掲載されていない自然災害伝承碑に関する情報がございましたら、**最寄りの地方測量部（支所）**もしくは**該当市区町村へ情報提供**をお願いします。

問い合わせ先【掲載等】： 国土地理院 各地方測量部(支所)

問い合わせ先一覧 https://www.gsi.go.jp/bousaichiri/denshouhi_info.html

問い合わせ先【取組全般】： 国土地理院 自然災害伝承碑グループ E-mail: gsi-denshou+1@gxb.mlit.go.jp





防災教育をはじめとして、さまざまな用途で活用できます

自然災害伝承碑の利活用事例を当院ホームページで紹介しています。

https://www.gsi.go.jp/bousaichiri/denshouhi_utilization.html



活用事例1 三重県立松阪高校



報告したポスター（松阪高校提供）

松阪高校の郷土地理部では、県全域の自然災害伝承碑の分布を確認し、**伝承碑が空白になっている宮川流域でフィールドワークを行い、未掲載の伝承碑を確認、その伝承碑に関わる災害の概要を「日本地理学会」の高校生ポスターセッションで報告した。その調査・報告が伝承碑への掲載につながった。**

活用事例2 神奈川県平塚市



防災さんぽの様子（平塚市提供）

平塚市では、災害に関連するスポットなどを巡る防災に観光的視点を取り入れた、防災さんぽを令和4年及び令和5年に開催した。令和4年3月26日開催した防災さんぽでは、市民活動団体「ひらつか防災まちづくりの会」の協力のもと、**関東大震災の自然災害伝承碑や遺構などを巡りながら当時の被害を学んだ。**

学校における学習教材

地理・歴史や小学校社会科等の教材に利用することで、身近な災害履歴を学ぶ

地域探訪の目標物

歩こう会などでの探訪コースの目標物とすることで、参加者が地域を歩きながら、過去の災害情報に触れる機会を創出

防災地図の素材

地域住民や児童生徒が、自然災害伝承碑の情報などを素材とした防災地図を作成することで、地域の防災意識が向上

活用事例3 埼玉県吉川市



リーフレットの 一部（吉川市提供）

吉川市では、水害の歴史を伝えるとともに、減災意識の高揚を図るため、市内3ヶ所の石碑を自然災害伝承碑として登録・公開したことを契機に、**石碑の内容をさらに理解していただくため、碑文の内容を掲載した「川とともに生きる～吉川市の水利用と水害の歴史～」（リーフレット）を作成した。**